

広報 UNOYAMA

第 36 号

発行所 黒埼町役場
印刷所 共立印刷廠

園児にうれしいプレゼント



興野一の佐藤イトさん

縫いぐるみや飾り物を

興野保育所に贈る!!

興野一区の大野静治さん宅にお住いの佐藤イトさんは病院で治療中、暇つぶしに寛えたという、タバコの外紙で作った飾りや、カルトの入り物で作った犬の縫いぐるみ等を去る三月三日、興野の保育所に届けられた。園児たちは思いがけないプレゼントに大よろこび佐藤さんは「子供たちから少しでも喜んで頂ければ」と毎日せっせと作った、犬の縫いぐるみ一〇個を園児一人一人に手渡しておられた。以前にも園児のおやつにでもなればと菓子を持参されたこともあり、たびたびの善意に深く感謝致します。さつき保育所ではタバコの外紙で作った飾りを玄関や廊下、教室の入口などに飾りつけ保育所内が一段と明るくなるとと保育士さんも喜んでいました。

〈町の動き〉

2月末日現在	(前月比)	
人口	17,787	+29
男	8,725	+4
女	9,062	+25
世帯数	4,095	+8
2月末日から末日まで		
死亡	10	
出生	23	
婚姻	11	

米

生産調整目標一〇一八トン 政府買入限度数量六四二〇トン

と決まる

四十八年度米生産調整の本町に對する配分数量は一〇一八トンで、これは昨年と比較して六八トン少なく又、事前先渡申込限度数量は六、四二〇トンで、昨年より八四トン多い数量がそれぞれ県より配分されました。ご承知のように米生産調整及び稲作転換対策実施は昭和五十年年度で実施されることに既に一昨年の閣議で了解されてある。実施内容については、

国が毎年米の需給状況を考慮してその数量を定め、奨励補助金の交付については転作は昭和五十年年度までとするが、休耕に係る奨励補助金は昭和四十八年度、つまり本年度限りで打ち切られることになっています。

今年度の推進計画は転作にウエイトを置き特に飼料作物、大豆等に大巾な転換を進める考えで、これらを集団転作、水田転換対策事業により推進するため予算計上がなされております。

本町ではこれらの対策として去る三月八日農業生産対策協議会を開催し、目標数量農業者別配分方法と事前先渡申込限度数量生産者別配分方法等について協議したところ米生産調整目標数量については、四十八年度産水稲付予定面積を基礎として、先渡可能な農業者へ配分し、事前先渡申込限度数量についても四十八年度産水稲付予定面積を基礎とし農家保有米を差し引いて県の配分数量一、〇一八トンの範囲内で各生産者へ配分されました。各農家へ配分された数量が配分後に水田面積の移動など

により実情に合わない場合は、当事者間で調整し変更を認めることにしています。

今後の推進対策については地域の実状と農家の自主的判斷に任せることを原則とし、転作不能な地域については、できるだけ有利な転作を推進するよう指導し、休耕については極力避けることが、今後の土地利用や販元作業にプラスになることから、やはり米の需給状況を十分考慮して推進する方針を決めました。

「実施計画書の提出は四月末までに」みなさんのところへ配分通知書と同時に稲作転換実施計画書が配布されていると思いますので協力できる方は計画書にその計画内容に記載し、又、協力できない方も計画書に住所、氏名押印し期日まで部落農家組合長さんへ提出されるようお願い致します(農政課)

香典返しに二十万円寄贈

去る三月十七日、県道黒埼西川線(金巻地内)において、浅妻茂行さんの長男寅次くん(3)は軽トラックの後から飛び出し前から来た車にはなられ即死したもので、この香典返しとして、浅妻茂一郎さん(収入役)が十万円、茂行さんが十万円計二十万円を交通事故防止運動の費用にでもと、三月二十二日役場へ寄附された。役場ではさつき協議し、今後このような痛ましい事故が起きないように、交通安全施設の整備等に使用させていただきます(予定)であります。